

科目名	単位数	学年・クラス	使用教科書
生物	2	3D選択	改訂 生物(生物311) 第一学習社

## 1 学習の目標等

1. 生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
2. 生命現象を支える物質の働きについて観察、実験などを通して探究し、タンパク質や核酸などの物質の働きを理解させ、生命現象を分子レベルでとらえさせる。
3. 生物の生殖や発生について観察、実験などを通して探究し、動物と植物の配偶子形成から形態形成までの仕組みを理解させる。

## 2 授業の特徴・留意点

1. それぞれの学習項目において、生徒が身近に感じられる話題との関連を重視する
2. 講義においては、疑問に感じたことはいつでも質問するよう促す。
3. 生きた知識が得られるように、できる限り多くの実験・実習・映像教材を取り入れる。

## 3 指導計画

年間指導計画に準ずる

## 4 提出物等

授業プリント 実験プリント

## 5 評価方法とその観点

## 評価方法

●下記の(1)～(5)の項目を、評価の観点別(関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解)に評価します。各学期の成績はそれらの評価から総合的に判断します。

- (1) 授業への取り組み  
授業に対する姿勢、学習態度、生物への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に関心・意欲・態度の項目を評価する。
- (2) 授業プリントの記載内容  
授業内容を適切にまとめているか、科学的な思考ができているかなどを評価する。
- (3) 観察・実験等  
観察・実験等を行い、レポートを書く。観察・実験に対する姿勢、予想や考察、器具の操作、報告書などから評価する。評価の観点のうち、思考・判断、観察・実験の技能・表現に関する配分が大きい。
- (4) 教科書・問題集の問題  
各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。
- (5) 中間・定期考査  
学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、思考・判断、知識・理解に関する配分がもっとも大きい。

## 6 学習のアドバイス等

- 1 日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考える態度をもつこと。
- 2 疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。
- 3 学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけること。